

## 「サタフラ」でアロハな土曜日



▶瀬戸内の島々を背景にアロハなひとときを

9年目を迎えたフラの祭典、サタフラ（サタデーフラ）が7月16日に開幕し、8月27日までの毎週土曜日に開催されています。

昼の部は道の駅サザンセットとうわ、竜崎温泉を会場に、夜の部はグリーンステイながうら、サンシャイン・サザンセットを会場に、県内外から過去最多の約120組3200人が素敵なフラを披露します。

瀬戸内のハワイで本場さながらのアロハな気分をご満喫ください。

詳しくは周防大島観光協会ホームページまたは☎0820（72）2134まで。

## 旧和田小を活用のサテライトオフィスで開所式

平成26年3月に閉校となった和田小学校に、情報通信技術会社㈱ビジコム（本社・東京）がサテライトオフィス（本社と離れた場所にある事務所）を開設し、7月27日、開所式が開かれました。

これは、山口県と町が誘致を行い、県内の中山間地域で初めて実現したもので、既に10名の従業員で業務を開始しています。

開所式で㈱ビジコムの中馬社長は「恵まれた環境で事業をさせていただくことは大変ありがたいこと。地域に貢献していきたい」と述べ、椎木町長も「周防大島の新たな事業モデルとしてさらなる企業進出につながれば」と期待を寄せました。



▶テープカットを行う中馬社長（左から2人目）や椎木町長（同3人目）

## しましまタイムズ

地域おこし協力隊員 山崎千寿の

SHIMASHIMA TIMES

7

周防大島町定住促進協議会  
☎0820（74）1007

日本一小さい水族館と言われている、伊保田にある「なぎさ水族館」に行ってきました。以前、次回行う海掃除の場所をどこにしようかと大島の海岸を調査に行っている際に、なぎさ水族館の飼育員さんがクラゲを採取している所に遭遇してからずっと気になっていた所です。

館内には貴重なアワサンゴや珍種のクラゲ、食べたら美味しそうな、あなごやフグなどがいる展示コーナーや大島の周りに生息しているアメフラシ、ウニにヒトデなどの生物に触れ合えるスペースがあり、実際に自分が海で見つけても触れない生物もここでなら安心して触れます。

なぎさ水族館が他の水族館と違うのは生物たちの展示や紹介の仕方です。飼育員さんの工夫が随所にあり、手作りのポップがユニークで思わずクスリと笑ってしまいます。



▲ヒトデ、ナマコ、アメフラシ等を触ることができるコーナー

イルカのショーや大きな水槽の中を泳ぐ魚の群れを見ることができ、水族館のような派手さはありませんが、飼育員さんの生き物たちへの温かい愛情が伝わってくる素敵な水族館です。私が大島の中で自慢できる場所がまたひとつ増えました。

さて、今回の海掃除は9月7日（水）午後6時から道の駅サザンセットとうわの沖に浮かぶ真宮島で行います。7月と同じ場所ですが、一度の掃除ではきれいにしきれなかった為、再度の清掃です。みなさんのご参加お待ちしております。